

「リチウムイオン電池 混ぜて捨てちゃダメ！」プロジェクトとは

急増しているリチウムイオン電池の火災事故を防止するため、家庭でも職場でも捨てようとするあらゆる場面において危機感の醸成等を図ることを目的に、事業者団体等と連携して、令和6年8月に本プロジェクトを始動しました。

【第一弾】

～都内自治体や事業者団体等と連携したポスターによる注意喚起～

火災事故の防止に向け、リチウムイオン電池使用製品を廃棄の際の注意喚起と適切な分別を促すためのポスターを作成し、自治体や業界団体等と連携した広報活動を強化。
都内自治体等とは可燃ごみなどに「混ぜて捨てちゃダメ！」のキャッチフレーズで注意喚起を行っています。



【第二弾】

広域的資源化モデル事業の試行（令和6年10月実施）

一自治体では回収量が少なく、資源としての買取には至らないリチウムイオン電池類を都が広域的に調整し、複数区市町村分をまとめて資源として資源化事業者売却するモデル事業を試行しました。

事業スキーム

●広域的資源化モデル事業

①都が複数自治体を広域的に調整し、まとまった量のリチウムイオン電池等を確保



【第三弾】

区市町村等と分別徹底の一斉注意喚起活動を実施

大掃除や引越しなどにより、ごみの排出が増える年末から年度末にかけて、都内自治体等と共に、様々な媒体を通じて注意喚起と分別の徹底を呼びかける一斉注意喚起活動を行います。



<注意喚起動画>

「広域的資源化モデル事業」が環境省の実証事業に選定されました